

カリキュラム・マップに基づいた教育課程の検証結果 (社会福祉学科介護福祉専攻)

○令和5年度の前期科目・通年科目についての教育課程の適切性の検証結果は次のとおりである。
(検証事項：内容の適切性、隣接科目との内容の重複、開講時期、カリキュラムの問題点等)

【成果・できていること】

- ・開講時期については、いずれの科目群においても、隣接科目との関連性をふまえた開講時期（年次）の検証が行われ、現状、教育内容や進度における課題は指摘されておらず、妥当であると判断される。
- ・科目群「人間と社会」「こころとからだのしくみ」「介護」「医療的ケア」の教育内容については、各 DP に基づく検証のほか、介護福祉士養成科目における教育に含むべき事項、教育上の留意点に準じた内容が確認され、いずれの科目群においても適切であると判断される（一部教育内容の重複については、下記課題に記載）。

【課題・できていないこと】

- ・科目群「こころとからだのしくみ」においては、内容の適切性に関して一部重複する科目が確認されたため（認知症の理解Ⅰ及びⅡ）、シラバスの修正及び開講時期の調整について検討する必要がある。
- ・科目群「人間関係とコミュニケーション」において、一部事例検討において、既学習の「生活支援技術Ⅱ、Ⅲ」の栄養・調理の知識、「身体のしくみ」の疾病の知識等が定着に欠ける点が指摘された。これらの点について、科目担当者間で対応について検討する必要がある。

【その他・今後の検討事項等】

- ・科目群「総括科目」は、現在介護福祉演習において、2年間の学習を横断的かつ総括的に学習、復習する教育を展開している。実践的かつ汎用的な知識習得を目指す統括科目群のねらいをふまえ、社会福祉演習の開講についても、ひきつづき検討を進める。
- ・加えて、2年間の学習を総括するうえで、教員だけでなく学生にとっても理解しやすいカリキュラムツリーの作成と活用について、ひきつづき検討を行う。